

ALCA-Next 2023年度 研究開発提案募集FAQ

		質問内容	回答
1	制度全般	28件というのは今年度の採択件数でしょうか？	28件は今年度の採択予定数です。
2	制度全般	来年以降も提案募集はありますか。何回募集を行うなど予定は決まっていますか。	来年度以降も募集を行いたいと考えておりますが、現時点では未定です。
3	制度全般	来年度の募集でも今回の募集テーマを設定されるのでしょうか。	上述の通り、来年以降も募集を行いたいと考えておりますが、現時点では未定です。募集テーマの見直しも行うため、必ずしも今年度と全く同じになるとは限りません。
4	制度全般	「提案を期待する技術要素」は全てをカバーしているほうが望ましいでしょうか？あるいは一番関係するものを選ぶのがよいでしょうか？	提案者の構想によって、複数を含めていただくのでも、一番関係するものを選んでいただくのでも、いずれでも構いません。
5	制度全般	応募の準備にあたって不明な点がある場合に個別にご相談をさせていただくことはできませんでしょうか。	応募に関してご質問がございました場合は、電子メールでお問い合わせをお願い致します。なお、誠に恐れ入りますが、公平性の観点からも、ご提案内容に関する個別の事前相談には対応できないこととなっておりますので、ご提案者様それぞれのご提案内容に沿った形でのご検討および作成をお願いしております。
6	制度全般	他大学の研究者を共同研究者として応募することは可能でしょうか？	他大学の研究者を共同研究者として応募いただくことは可能です。主たる共同研究者としていただきます際は、JSTと委託研究契約を結ぶ機関のメンバーを束ねる人物となっていただきます。
7	制度全般	加速フェーズを終える前に定年を迎える予定でも、研究開発代表者(研究開発提案者)として応募可能でしょうか？	研究期間中に退職を迎える方におかれましても、申請いただくことは可能です。ただし、採択となった場合は、退職後にも予算執行など研究開発代表者としての責務を果たしていただけるか等、必要に応じた研究実施体制の調整をお願いいたします。
8	制度全般	採択後に代表者の所属が変わった場合の取り扱いはどうなりますか	異動先の機関・部署とJSTとで、委託研究契約を結び直す(変更契約する)こととなります。なお、異動先の機関も、募集要項記載の機関の要件を満たしていただく必要があります。
9	制度全般	ボトルネック課題例と同じような研究課題を提案しても問題ないでしょうか？	問題ございません。
10	制度全般	ステージゲートの通過判断はどのようなクライテリアを元に考えられていますか？	募集要項「3.3評価」に記載のステージゲート評価の評価基準にそって評価を行います。
11	制度全般	企業研究者が研究担当者(研究開発代表者・主たる共同研究者)として応募する場合も、その研究者の人件費は直接経費の計上対象に含まれないのでしょうか？ 要綱に人件費・謝金の対象が、「研究開発参加者(但し、研究担当者を除く)の人件費・謝金」と記載されているため。	原則として、研究担当者の人件費を直接経費から支出することはできません。ただし、複数の条件を満たす場合にのみ「PI人件費」として支出が可能となりますので、募集要項などの記載をご確認ください。
12	制度全般	企業と大学で共同で申し込むことは可能でしょうか。	可能でございます。
13	制度全般	審査の間の、申請書内容や応募に関する秘匿性の取り扱いに関する記述が募集要項等にありませんでしたが、どのようになっておりますか？	審査過程において応募内容を取り扱う可能性のあるJST事務局、ALCA-NextのPO、領域アドバイザー、GteXのPOはいずれも守秘義務のある契約を締結しております。
14	制度全般	スモールフェーズは1年から4年とありますが、短くなる可能性はありますか？	原則、全課題同じ時期にステージゲート審査を想定しております。 原則からはずれてスモールフェーズが短くなるかはケースバイケースですので、現時点でお答えいたしかねます。
15	制度全般	(企業が)研究開発参加者として参画する場合、JST-参加者機関とでの契約が必要となりますか？	当該企業が予算配分を受け、予算の執行を行う場合には、JSTとの委託研究契約が必要となります。
16	制度全般	研究代表者をスモールフェーズと加速フェーズで研究代表者の交代は不可能でしょうか。	研究代表者は継続いただくのを原則としておりますが、正当な理由があり、かつ、研究成果を引き継ぎ、成果の発展が期待できる場合で、POの了承が得られれば、研究代表者の交代は可能です。
17	制度全般	カーボンニュートラルへの貢献が評価指数になっていますが、CO2以外の温室効果ガス削減に着目した課題も受け付けてもらえるのでしょうか。	二酸化炭素以外の温室効果ガスも対象とします。地球温暖化の抑制に貢献する提案を期待します。

		質問内容	回答
18	制度全般	e-Radのアカウントは代表者のみが保持していれば良いですか？ また、e-Radアカウントが必要なメンバーはどのような人ですか？	研究開発代表者だけでなく、主たる共同研究者もe-Radアカウントが必要になります。詳細は募集要項をご確認ください。
19	制度全般	1人での申請も可能とのことですが、その場合は1グループのチームとして申請書には記述すれば良いですか？ また、e-Radのアカウントに関して、主たる研究者、とは、申請書内ではどのような位置づけの人をいいますか？	個人で応募する場合には、1グループのチームとして申請ください。また、「主たる共同研究者」とは、JSTと委託研究契約を結ぶ機関のメンバーを束ねる人物を指します。
20	制度全般	1人で研究する場合も内容によっては採択の可能性が充分にあるということでしょうか。	1人であることで審査が不利になることはありません。
21	制度全般	A-STEP(育成型)に応募している課題を重複応募することは可能でしょうか。また両方に採択された場合、どちらか選択して研究を遂行するという理解でよいでしょうか。	A-STEPとの重複応募制限はございませんが、採択時には「不合理な重複や過度の集中」の観点から調整を行う可能性があります。
22	制度全般	CRESTとの重複応募の取り扱いについて教えてください。	CRESTとの重複応募制限はございませんが、採択時には「不合理な重複や過度の集中」の観点から調整を行う可能性があります。
23	制度全般	知的財産について、企業との共同研究の場合、どのような扱いになるか教えてください。 例えば、大学-企業のみで申請することが可能なのか、大学-企業-JSTとなるのか。	知的財産については、委託研究契約に基づき、原則として発明者の所属機関に帰属します。JSTへは状況を報告していただきますが、知的財産の取得・活用については、ご所属機関にて適切に進めてください。
24	制度全般	面接は対面で実施される予定でしょうか。それとも、オンラインでしょうか。	現時点では未定です。決定次第、ALCA-Nextのホームページ上などで周知する予定です。
25	制度全般	バイアウト制度の対象になりますか？	当事業はバイアウト制度の対象となっております。
26	制度全般	各領域、各カテゴリーを明記して申請する形でしょうか？	研究開発提案書の記載要領(青字)の通り、提案先の技術領域名およびカテゴリー名の記載をお願いします。
27	制度全般	研究提案が複数のカテゴリ(例えば、蓄エネルギーaと資源循環のaなど)にまたがる場合、提案先技術領域としては一つに絞る必要があると思われそうですが、研究発展性の観点から提案書内には複数のカテゴリに該当することを明示しても良いでしょうか	技術領域は一つに絞っていただく必要がありますが、複数のカテゴリを明示いただくのは構いません。
28	制度全般	CO2削減の数値目標は必要ですか。	数値目標は必須ではありませんが、可能な限り科学的根拠に基づいた定量的な目標を記載ください。
29	制度全般	領域アドバイザーの先生は、応募前に公開されますでしょうか？	採択決定時に公開となる予定です。
30	制度全般	同じプログラムオフィサーが複数領域を管轄しますが、その複数領域のアドバイザーは同じメンバーでしょうか？	適宜選定するため、必ずしも同じメンバーとは限りません。評価者については採択決定時に公開となる予定です。
31	制度全般	本日のPPT資料は共有いただけるでしょうか。	募集説明会資料とPO説明録画をALCA-Nextのホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。
32	制度全般	英語版の募集要項と提案書様式は公開されるのか。また、提案書を英語で作成してもいいか。	後日HPに掲載予定です。ただし、英語版の募集要項は参考資料の位置づけとなっております。予めご了承ください。 提案書は英語でご記載いただければと思いますが、今後、採択となった場合に一部書類(契約書、計画書・成果報告システムなど)は英語対応は致しかねます。採択後は、各種様式の準備のため、日本語がわかる方を補佐としていただきたく、予めお願いいたします。

		質問内容	回答
33	蓄エネルギー	水電解に関するテーマは提案可能ですか？ GteXとのバッティングで審査の対象にならないことはありますか？	2023年度の募集につきましては、革新的GX技術創出事業(GteX)で対象とする水電解に関するご提案はGteXへのご応募を推奨いたします。
34	蓄エネルギー	「蓄エネルギー」領域の「b.再生可能エネルギーの利用を促進する安全で低コストな電気エネルギー貯蔵技術の研究」について、研究のアプローチとしては、化学に重点を置いているように見えたが、例えば、機械式蓄電のような他研究分野による提案は歓迎していただけるでしょうか。蓄電そのものと周辺電力変換器の基礎研究を融合させて、蓄電システム開発を目指すような研究提案が可能か検討したいと考えています。	カーボンニュートラルの実現に貢献し得る、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジーを創出するご提案を幅広く募集しております。
35	蓄エネルギー	風力発電や水力発電での低出力電圧領域の効率的蓄電方法のような取り組みは対象になりますでしょうか	カーボンニュートラルの実現に大きく貢献する、電力系統用に適した電気エネルギー貯蔵技術のご提案を幅広く募集しております。
36	エネルギー変換	水素エネルギーキャリアの直接利用技術として、アンモニアの燃料利用は対象となりますか。	対象となります。カーボンニュートラルの実現に貢献し得る、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジーを創出するご提案を幅広く募集しております。
37	エネルギー変換	効率的なCO2回収技術の開発に集中した提案もOKでしょうか。	高効率・省エネルギーで二酸化炭素を回収可能なご提案をお待ちしております。
38	エネルギー変換	熱電変換に関する課題も提案できますでしょうか？	カーボンニュートラルの実現に貢献し得る、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジーを創出するご提案を幅広く募集しております。
39	エネルギー変換	燃料電池の革新が図2にありましたが、今回のbの説明の中になかったように思いました。ALCA-Nextの対象になりますでしょうか	2023年度の募集につきましては、革新的 GX 技術創出事業(GteX)で対象とする燃料電池に関するご提案はGteXへのご応募を推奨いたします。
40	エネルギー変換	エネルギー変換について、未利用排熱エネルギーは水素、太陽光以外ではc.の区分でよろしいでしょうか？	未利用排熱エネルギーの変換に関するご提案は「エネルギー変換」領域の「c.カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー変換技術の新発想」にぜひご応募ください。 未利用排熱エネルギーの蓄熱に関するご提案は「蓄エネルギー」領域のa. 中低温未利用熱エネルギーの貯蔵技術の研究にぜひご応募ください。
41	資源循環	バイオマスの活用は、資源循環に提案すべきでしょうか。もしくは、次のグリーンバイオテクノロジー領域のどちらに提案変換すべきでしょうか。	「資源循環」領域では、バイオマスを原料とした、化成品などの合成手法や性能向上などの化学的な検討を中心に扱います。一方、「グリーンバイオテクノロジー」領域では、高収量・低環境負荷の実現や、植物機能の最大化など、バイオマスそのものを対象とした研究を扱う想定です。募集要項をよくご確認の上、より合致していると思われる領域への応募をお願いいたします。
42	資源循環	生物を利用した温室効果ガスを回収分離、利用するプロセスの開発は「資源循環」領域の対象になりますでしょうか。「グリーンバイオテクノロジー」領域とのオーバーラップはどのように判断されますでしょうか。	「資源循環」領域では、バイオマスを原料とした、化成品などの合成手法や性能向上などの化学的な検討を中心に扱います。一方、「グリーンバイオテクノロジー」領域では、高収量・低環境負荷の実現や、植物機能の最大化など、バイオマスそのものを対象とした研究を扱う想定です。
43	資源循環	「貴金属の再利用」の貴金属の中で、特に重要で望まれる金属は何と考えられていますか？	資源の効率的な循環利用を低環境負荷で可能とし、温室効果ガス排出量の削減に大きく貢献するという観点等で、ご提案者様ご自身で対象とする金属をご検討ください。
44	資源循環	バイオマスの炭化による生成物づくりは資源循環領域の対象となりますか？	非可食性バイオマスを原料とし、温室効果ガス排出量の削減に大きく貢献する、科学技術パラダイムを大きく転換するゲームチェンジングテクノロジーを創出するご提案を幅広く募集しております。
45	資源循環	3Dプリンティング技術は金属資源の循環利用プロセスと捉えられるでしょうか	資源の効率的な循環利用を低環境負荷で可能とし、温室効果ガス排出量の削減に大きく貢献する技術は「資源循環」領域の対象となります。

		質問内容	回答
46	グリーンバイオテクノロジー	植物の遺伝子解析や育種について、微生物との相互作用を活用するのは必須か？	未知の部分が多い領域の例として、“複合生物系における相互作用”を領域概要やカテゴリaやbで挙げておりますが、あくまで例示であり、すべてのご提案に複合生物系における相互作用の要素を含めることを求めているものではありません。
47	グリーンバイオテクノロジー	植物プランクトン(微細藻類)と動物プランクトンの活用技術は、この領域の対象となりますか？	対象となります。カーボンニュートラル実現に貢献できるような提案を期待します。
48	グリーンバイオテクノロジー	N2O排出抑制は対象になるでしょうか？	生物を利用してN2Oの排出を抑制するような提案は対象となります。カーボンニュートラルの実現を目標としますが、幅広く温室効果ガスの排出量削減に貢献する技術開発を期待します。
49	グリーンバイオテクノロジー	非食糧植物に限らず食品に用いられる植物種等のエネルギー利用の提案でも、この領域での採択の対象になるのでしょうか？	植物種による制限はございません。カーボンニュートラル実現に貢献できるような提案を期待します。
50	半導体	比較的低電力容量のパワー半導体、その制御回路などは今回の募集範囲に含まれないのでしょうか？	大規模な電力ネットワークのパワー半導体や制御回路に注目しています。ほかの領域に使えるものが、これらにも使えるものであれば、応募範囲に含まれます。
51	半導体	ロジック向けの半導体材料として極薄膜層状材料が挙げられていましたが、具体的に想定されている材料があれば教えていただけますでしょうか？	グラフェンやMX2と表記される遷移金属カルコゲナイドなど従来のSiとは異なる新規な二次元層状材料です。これらの材料を無欠陥で成膜する、あるいはトランジスタのところだけに選択的に成長させることが重要です。
52	半導体	半導体の領域で3次元トランジスタやメモリの開発が例示されていましたが、ロジックチップとメモリチップのチップレット集積化は対象になりますか？	チップレット集積により、省電力や高速化を実現できる革新的な技術は、「1通信ビット当たりの消費電力を抜本的に低減する革新的伝送ハードウェア技術」の例としてあげました。このようなものは対象になります。
53	半導体	革新的コンピューティングアーキテクチャのための半導体設計ツールやソフトウェアの研究開発は対象に含まれますでしょうか？	半導体を実現するうえで革新的なツールは必須なので含まれます。
54	グリーンコンピューティング・DX	非フォンノイマン型を例示されていましたが、通常のGPU向けのアーキテクチャーに関しては対象とならないのでしょうか？	従来のGPUの上で動かして低電力になりましたというものは今回の対象になりません。コンピューティングを根本から革新する、桁違いの省エネ効果をもたらすようなアーキテクチャーの提案を期待しています。
55	グリーンコンピューティング・DX	情報学的な「グリーンコンピューティング」の技術ではあるものの、「半導体」へ実装した場合に大きな効果があるような技術に関しては、どちらの領域に応募すべきでしょうか？	ご提案が複数の領域にまたがることは多いです。応募者の判断で領域を決めて頂きたい。領域違いで採択されないということがないように、応募者の了解を得て違う領域で審査することもあります。領域ごとに採択数は決まっていますので、応募領域で悩みすぎないでほしいです。
56	グリーンコンピューティング・DX	今回の募集領域は非フォン・ノイマン型とのことですが、フォン・ノイマン型における革新的な技術は、申請可能でしょうか？	フォンノイマン型で革新的なご提案があれば、ぜひ申請してください。カーボンニュートラル実現に向けた新たな発想に基づく提案として審査させていただきます。
57	グリーンコンピューティング・DX	グリーンコンピューティング領域で、エネルギーマネジメントを出口とした研究を提案する場合、どのような点がポイントとなりますでしょうか？	社会実装して実証実験するまでは求めませんが、定量的な評価は求められます。理想的なネットワークを組むと、どれだけ社会全体のエネルギーが効率よく使えるかというような基礎に戻った提案は重要です。
58	グリーンコンピューティング・DX	「グリーンコンピューティング・DX」領域は、ハードウェアやシステムアーキテクチャの研究課題が主眼になるのでしょうか？アプリケーション開発技術やシステムソフトウェアは対象に入るのでしょうか？	対象に入ります。ただし、低電力効果が特定のドメインに限られないように注意してください。デバイスや材料だけでなく、アーキテクチャ、ソフトウェア、システムまで入っても結構です。